

～データを踏まえて未来を構想し、探究し、行動する科学技術人材の育成～

<1年生DSスキル>

南高 SSH の柱の一つは「データサイエンス」です。信頼できるエビデンスから得られた**データの分析に基づき意志決定を行うことができる人材**を育成するために、今年度より学校設定科目「**DSスキル**」を1年生全員が学んでいます。この授業では、データサイエンスの手法を踏まえ課題研究を行うスキルを高めること、真の「読解力」をのばすことを目的にしています。(DS=データサイエンス)。本校にとって初めてのチャレンジとなる授業ですが、全国的にもデータサイエンスを授業に取り入れている高校はまだ多くありません。しかし、データサイエンスはこれからの社会において「必須の学問分野」として大きな注目をあつめています。本校は他県のSSH校や、日本で初めてデータサイエンス学部・研究科を開設した滋賀大学と連携しながら充実したプログラムを展開していきます。

今年度は、休校があげた6月から、基礎的なデータ分析の技術を習得を目指し、PCと格闘しながらの演習をスタートさせました。

<これまでの主な活動>

6月

新型コロナウイルスをテーマに、世界各国の政策と実際の感染者数のグラフの相関を読み取ったり、感染者数が多い地域に共通するものは何があるかを探す演習を行いました。エクセルを使うのは初めてという生徒たちも、少しずつPCを使いこなせるようになってきました。



7～8月

「島根県」を題材にミニ探究活動を行いました。以下の4つのテーマから1つ選び、インターネット上の統計データを用いてワードでレポートを作成しました。

～テーマ～

- ①島根県の有効求人倍率の変化
- ②島根県の合計特殊出生率の変化
- ③島根県の農業をより良くするためには
- ④島根県の世帯における消費支出の変化

これまでの演習の成果として、エクセルでグラフを作ってデータを分かりやすく処理している生徒や、複数のデータを結びつけて深い考察を行っている生徒も多かったです。他の生徒が作ったレポートと交換し、評価し合う中で、「もっとこうすれば分かりやすくまとめられたなあ。」といった声も聞かれました。



9～12月

データの見方や分析の仕方について、エクセルを使いながら、学習しました。エクセル上の様々な関数を学び、互いに教え合いながら演習活動を行いました。

1～2月はデータ分析のまとめとして、スポーツテストのデータを用いて各班でテーマを決め、分析・発表を行っています。その様子もSSH通信でお知らせしていきます！